

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
倂	コウ さいわい 人①						倂	倂	倂 豊野指歸
借	シャク かりる 教4 常①		借	借借			借借借	借	借 元維基誌 元・鮮于樞 杜家立成
修	シュウ シュ おさまる おさめる 教5 常①		修	修			修修修	修	修 元・趙孟頫
倉	ソウ くら 教4 常①	倉	倉	倉	倉	倉	倉倉倉	倉	倉 元・趙孟頫
値	チ あた い ね 教6 常①		値				値値	値	値 元・趙孟頫
倒	トウ た おす た おれる さ かさ ま 常①		倒	倒	倒	倒	倒倒	倒	倒 元・趙孟頫
俳	ハイ た わ む れ 教6 常①		俳				俳俳俳	俳	俳 元・趙孟頫
倍	バイ そ む く ま す 教3 常①		倍	倍			倍倍	倍	倍 元・趙孟頫

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
倂	倂	倂	倂				倂				倂	倂 幸 草書辨体 中・台・香
借	借	借	借	借			借	借	借	借	借	借 元・鮮于樞 中・台・香
借	借										借	借 元・趙孟頫
修	修	修	修	修	修		修	修	修	修	修	修 中国
修	修										修	修 台湾・香港
倉	倉	倉	倉	倉			倉	倉	倉	倉	倉	倉 中国
倉	倉										倉	倉 台湾 香港
値	値	値	値	値			値	値	値	値	値	値 中国
値											値	値 台湾・香港
倒	倒	倒	倒	倒			倒	倒	倒	倒	倒	倒 中・台・香
俳	俳	俳	俳	俳			俳	俳	俳	俳	俳	俳 台湾・香港 中国
倍	倍	倍	倍	倍			倍	倍	倍	倍	倍	倍 香港 中国

【修】後藤朝太郎「教育上より見たる明治の漢字」では、「久」を標準字、「父」を許容字とする。説文篆文の字形を素直に楷書や明朝体にすれば「支」になる。中国簡体は「久」の字体を書く。
【倉】説文解字の大徐本と段注本の字体が異なる。段注本が誤

りではないだろうか。
【値】手書きでは隣の「直」に鉤形を書くことはまずない。江戸では「値」のかわりに「價(価)」または「直」を使う。
【俳】楷書(唐代の正(統)字体を含む)では旁「非」の左側の縦線をはらわずに止める。弘道軒や中国簡体の明朝体(宋体)も同様。

【倍】漢代は隣の横線を長くする場所が一定していない。康熙字典では隣の1画目は横線、中国簡体では点、日本と香港では縦線。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
倭	ヒョウ たわら 教5常①		説文不録						
倣	ホウ ならう 常①		説文不録						
倣	ホウ 常①		説文不録			倣倣			
倫	リン たぐい みち 常①		倫	倫		倫倫倫倫	倫	倫	王勃詩序
倭	ワ やまと 人①		倭				倭倭	倭倭	五経・人部 琴歌譜
偽	ギ いつわる にせ 常①		偽	偽	偽	偽	偽	偽	説文・人部 馬王堆 北海相景君碑 集字聖教序 敬史君碑 等慈寺碑 五経・序 饗賢指歸
偽	人②		偽	偽	偽	偽	偽	偽	説文・人部 段注・人部 銀雀山竹卷 唐・書譜 元珍墓誌
偶	グウ 常①		偶	偶	偶	偶	偶	偶	説文・人部 馬王堆 武威漢簡 唐・書譜 元熙墓誌 圭峰禪師碑 五経・人部 王勃詩序
倦	ケン うむ 人①		倦	倦	倦	倦	倦	倦	説文・人部 子游殘碑 甘陵相殘碑 晋祠銘 温彦博碑 干祿字書 聖武天皇集
券			券						説文・力部
健	ケン すこやか たけし 教4常①		健	健		健	健	健	説文・人部 敦煌漢簡 金光明教2 阿毘曇毘婆安 王勃詩序
僂	シ しのび しのび 人①		僂					僂	説文・人部 五経・人部

【倭】江戸期よりも古い使用例がみつからない。

【倣】1981年(昭和56年)に当用漢字表外から常用漢字表に追加された。

【倫】傍の縦線が上に出る、出ないの2種の字体がある。説文篆文に倣えば上に出るはず。

【偽】漢代の隸書ですでに簡略化されている。弘道軒が正(統)字体なのは意外。漢字整理案で傍の4点が線に略されている。中国簡体は草書の字体。台湾・香港も略字。

【偶】最終の2画に注目。通(用)字体も正(統)字体も楷書では傍を8画で書いているが、康熙字典では9画。説文篆文の字

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
	倭	倭	倭				倭	倭	倭	倭	倭	倭 倭 香港 中国
	倣	倣	倣				倣	倣	倣		倣	倣 倣 香港 中国・台湾
	倣	倣		倣			倣					倣 中・台・香
	倣			倣								
	倫	倫	倫	倫			倫	倫		倫		倫 中国
				倫								倫 台湾・香港
	倭	倭	倭	倭			倭					倭 倭 台湾 中国・香港
	偽	偽	偽	偽	偽	偽	偽	偽	偽	偽	偽	偽 中国
	偽			偽								偽 台湾・香港
	偶	偶	偶	偶			偶	偶		偶		偶 中・台・香
	倦	倦	倦	倦			倦					倦 中国・台湾
												倦 香港
	健	健	健	健	健		健	健	健	健	健	健 健 香港 中国・台湾
	僂	僂										僂 僂 段注・人部 中国

体に倣えば8画になるはずだが、1画増やすのが明朝体の様式なのだろう。ところが楷書の弘道軒や文部省活字も康熙字典に倣って9画にしている。

【倦】干祿字書の(通)の字体が拓本と江戸版本で異なる。

【健】江戸時代は「久」を「久」の形で書くことが多い。

【僂】説文解字の大徐本と段注本の字体が異なる。大徐本は四角の頭に角をつける傾向があるようだ。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隷書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
側	ソク がわ								杜家立成
停	テイ とどめ とまる								王勃詩序
偵	テイ うかがう								
偏	ヘン かたよる ひとえに								法華義疏
偉	イ えらい								王勃詩序
僅	キン わずか								杜家立成
傘	サン かさ								
傘									
備	ヒ そなえる そなわる つぶさに								杜家立成
									杜家立成
									杜家立成

【側】金文では傍の右側は「人」であって「刀」ではない。
 【偉】中国簡体は草書の字体。
 【偵】1981年(昭和56年)に当用漢字表外から常用漢字表に追加された。
 【僅】2010年(平成22年)に人名用漢字から常用漢字表に追加さ

れた。
 【傘】1981年(昭和56年)に当用漢字表外から常用漢字表に追加された。『謹身往来』の字体は康熙字典よりも1画多い。漱石が書いている字体は江戸版本の『謹身往来』の字体の省略体か。「漢字整理案」で字典體として掲載されている字体が、康

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考		
												側 台湾・香港	側 中国	
													停 中国・台湾	
													偵 台湾・香港	偵 中国
													偏 中国	
													偉 中国	
													僅 台湾・香港	僅 中国
													傘 中国	
													備 中国	
													備 台湾	
													備 香港	

熙字典とは異なり、漱石が書いた字体と同じ。
 【備】説文では人部にあるが五経文字では用部にある。旁を「久+用」と書く異体字がある。「明治の漢字」に「久+田」を書く例がある。中国簡体では「イ」を省略して「久+田」の字体を使っている。

※当用漢字字体表の下の○×は、複数の字体がある字種のうち昭和24年当時、岩田母型製造所での母型の有無を示す。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隷書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
備	ヨウ やとう 人①		備					備	備
傲	ゴウ おごる あそぶ 常②		傲				傲	傲	
僑	キョウ ①	僑	僑	僑	僑	僑	僑	僑	僑
像	ソウ かたち 教5 常①		像	像	像	像	像	像	像
僕	ボク しもべ 常①	僕	僕	僕	僕	僕	僕	僕	僕
僚	リョウ つかさ とも 常①		僚	僚	僚	僚	僚	僚	僚
億	オク おしはかる 教4 常①	億	億	億	億	億	億	億	億
儀	ギ のり 常①	儀	儀	儀	儀	儀	儀	儀	儀

【傲】2010年(平成22年)に常用漢字表に追加された。説文解字の大徐本と段注本の字体が異なる。現代の日本と中国の字体は微妙に違う。弘道軒と中国の字体が同じ。
 【僕】1981年(昭和56年)に当用漢字表外から常用漢字表に追加された。旁を「業」とする字体が多く書かれてきた。これを

干祿字書では〈俗〉とし、「僕」を〈正〉とする。五経文字では「僕」を隷省とし、説文に従う字体を別に挙げている。
 【億】西周の金文にはニンベンがない。九経字様では説文に倣った字体を挙げ、「億」の字体を隷省としている。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
	備	備	備	備			備					備備 佣 台湾 香港 中国
		傲	傲	傲	傲	傲	傲					傲傲 傲傲 段注・人部 中国 台湾 香港
		僑	僑	僑								僑 侨 台湾・香港 中国
	像	像	像	像	像	像	像	像	像	像	像	像 中国
												像 像 台湾 香港
	僕	僕	僕	僕	僕	僕	僕	僕	僕	僕	僕	僕 仆 干祿(俗) 中国
												僕 僕 台湾 香港
	僚	僚	僚	僚	僚	僚	僚	僚	僚	僚	僚	僚 僚 北魏・寇謙誌 中・台・香
												億 億 台湾 香港
	儀	儀	儀	儀	儀	儀	儀	儀	儀	儀	儀	儀 儀 中国
												儀 儀 台湾・香港